

平成 22 年 6 月 28 日

各 位

会 社 名 TL ホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 HUANG LIAOZHAN  
(コード 3777 大証ヘラクレス)  
問合せ先 取締役財務統括兼海外事業統括  
佐藤 浩二  
(TEL. 03-6275-2012)

株式交換による QiuJia Media Japan 株式会社の完全子会社化の中止に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、平成 22 年 6 月 15 日付「簡易株式交換による QiuJia Media Japan 株式会社の完全子会社化並びに主要株主の異動に関するお知らせ」にて発表いたしました、当社を完全親会社とし、QiuJia Media Japan 株式会社（以下、「QiuJia Media Japan」といいます。）を完全子会社とする、簡易株式交換制度を利用した株式交換を、下記のとおり、中止することを決定いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 株式交換中止の理由

当社は、平成 22 年 7 月 11 日にて本株式交換により当社普通株式が割り当てられる上海秋佳体育発展有限公司（以下、「QiuJia Sports」といいます。）より、中長期保有の方針である旨の確約書を受領いたしましたが、中長期という期間が少なくとも 2 年間という期間を想定しているものと理解していたため、特に確認書に明記する様求めませんでした。当該保有方針の実効性を確実に担保するため、株式交換契約締結後より当該保有方針について、QiuJia Sports が遵守すべき追加条件として、具体的な中長期保有の年数を原則 2 年以上とする旨を決定し、平成 22 年 6 月 22 日より 24 日まで QiuJia Sports と交渉を行ってまいりましたが、合意に至ることができなかつたため、既存株主利益の保護を最優先と判断し、QiuJia Media Japan と締結いたしました株式交換契約を本日付で合意解除し、株式交換を中止することといたしました。

なお、保有方針に関して QiuJia Sports が遵守すべき条件として合意に至らなかった主な原因は、前述しましたとおり中長期という期間が少なくとも 2 年間という期間を想定しているものと理解していたため、保有方針に関する確約書に記載された「中長期」という言葉を額面通りに受け、また QiuJia Sports より具体的な期間について特段の問い合わせもなかったため、株式交換契約締結前には顕在化していなかったものの、遵守すべき追加条件を交渉する中で、QiuJia Sports が理解及び合意できない、中国と日本における中長期という具体的期間に関して隔たりがあり、当該隔たりの溝を埋めきれなかったところにあります。

※本日開示しております「代表取締役及び役員の変動に関するお知らせ」とは一切関係ございません。

2. 今後の見通し

今回の株式交換の中止による業績に与える影響につきましては、現在精査中であり未確定のため、確定次第速やかに開示いたします。

以上